

エコアクション21 環境経営レポート

(2023 年 11 月 1 日～2024 年 10 月 31 日)



相模原市 O 様邸 改装工事 2024 年 6 月完工
LIXIL メンバーズコンテスト 2024 地域優秀賞受賞

2024年12月20日発行

芳賀建設工業株式会社

環境経営レポート目録

1. 組織の概要	P.3
2. 対象範囲	P.3
3. 環境管理体制	P.4
4. 環境方針	P.5
5. 環境経営目標と環境経営目標の実績・評価	P.6～8
6. 環境活動計画、環境経営計画に基づき 実施した取組内容	P.9～10
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営計画	P.11
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.12
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.13～14

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

芳賀建設工業株式会社
代表取締役 芳賀 錠二

(2) 所在地

本社 神奈川県相模原市南区下溝606-21
資材置き場 神奈川県相模原市南区下溝3077

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 眞那子 可奈子
EA21事務局 高 田 かほる
連絡先 電話 042-778-2369
FAX 042-778-2695
e-mail hagaken@hagaken.co.jp

(4) 事業活動の内容

- 1、総合建設業
- 2、個人、共同住宅及び法人施設等の企画、設計、施工
- 3、公共工事の施工
- 4、住宅リフォームの企画、設計、施工
- 5、不動産取引業、不動産の賃貸、売買、管理

(5) 事業の規模

	2024年度
売上高（百万円）	855
工事件数（件）	284
従業員数（人）	18
延床面積（m ² ）	246.37
資材置き場（m ² ）	198.74

2. 対象範囲

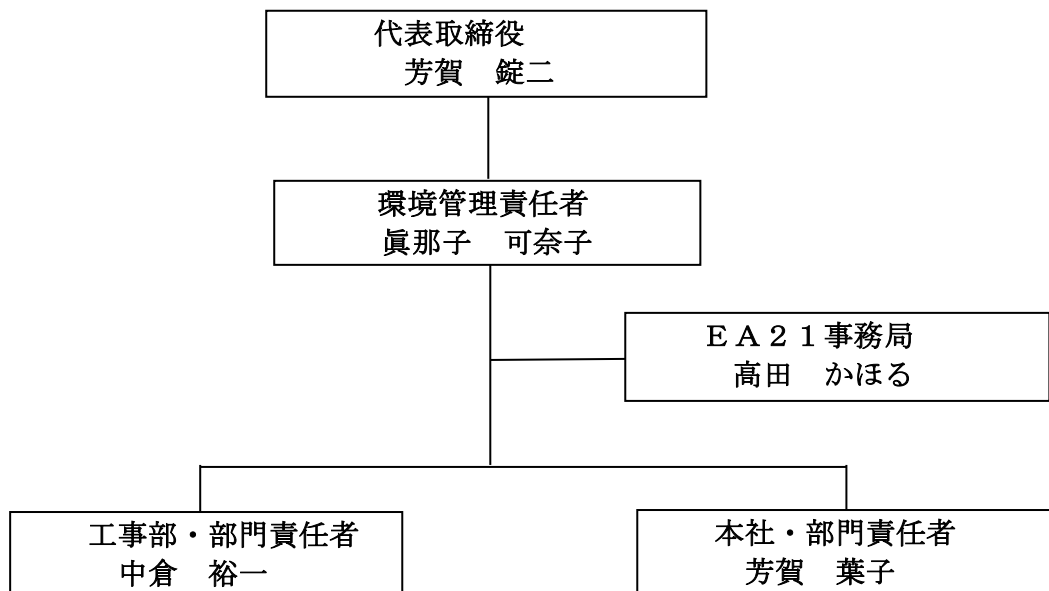
(1) 認証・登録対象組織

本社、資材置き場

(2) 認証・登録対象活動

本社及び資材置き場、工事現場で行う全ての業務

3. 環境管理体制



役職	責任及び権限
代表取締役社長	1、環境管理責任者の任命 2、環境方針の制定 3、環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4、環境経営システムの定期的見直し・指示 5、経営における課題とチャンスの明確化 6、社内情報の外部公開可否決定 7、環境活動レポートの承認 8、実施体制を構築し、各自の役割・責任及び権限を定め、全従業員に周知
環境管理責任者	1、環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2、社長への環境経営システムの実施状況報告 3、エコアクション21の事務局の責任者として事務局運営 4、それぞれの業務、役割に応じ、必要な教育、訓練を適切に計画、実施 5、関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6、環境関連文書及び記録の作成、整理 7、環境活動レポートの確認
EA21事務局	1、環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 2、環境目標、環境活動計画書原案の策定 3、環境活動の実績集計 4、環境活動レポートの作成
部門責任者	1、環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2、環境上の緊急事態への準備及び対応
従業員	1、環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する 2、決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営方針

芳賀建設工業株式会社の環境方針

<環境理念>

当社は建築工事等によって及ぼす環境への影響を社員 1 人 1 人が認識し、継続的な環境改善により企業の社会的責任を果たすべく積極的に環境保全と環境負荷低減に取り組めます。

<行動指針>

- 1、 二酸化炭素排出量の削減
 - ・省エネルギー活動により電気使用量及び燃料使用量の削減に努めます。
- 2、 廃棄物の発生抑制
 - ・事業活動に伴い発生する廃棄物を抑制するとともに、建設廃棄物リサイクル率向上に努めます。
- 3、 水使用量の削減
 - ・水の有効利用により水使用量の削減に努めます。
- 4、 地域環境保全活動の推進
 - ・HAGAKENクリーンアップ作戦を実施、継続に努めます。
- 5、 環境教育の実施
 - ・会社、社会が求めていることに対する意識向上を図ります。

※ 上記行動指針に基づき、環境目標を定め全従業員に周知します。
環境関連法令・規制を遵守します。
関係協力会社においても可能な限り協力を依頼し、共に活動します。

2022年12月1日
芳賀建設工業株式会社
代表取締役 芳賀 錠二

5. 環境経営目標と環境経営目標の実績・評価

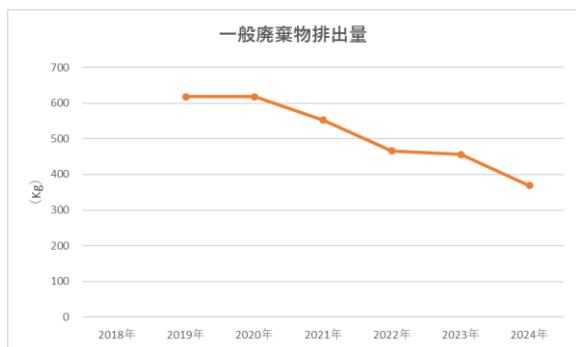
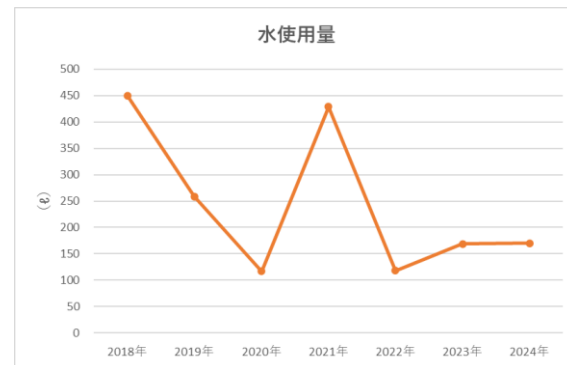
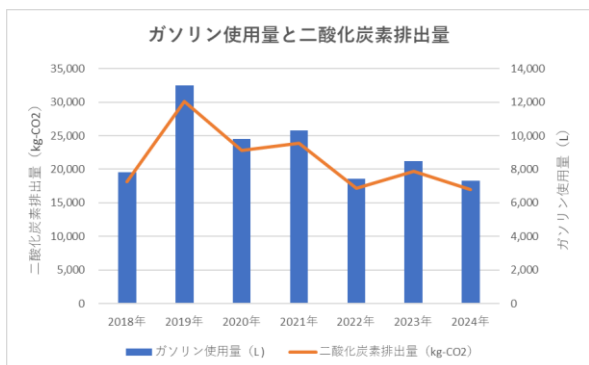
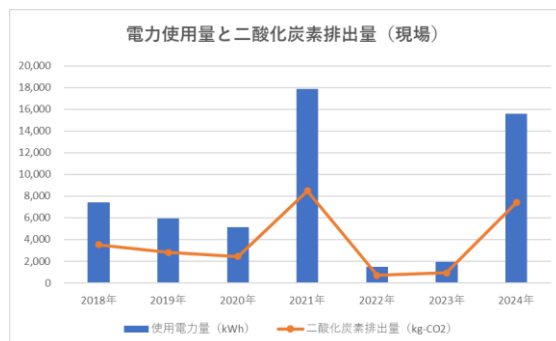
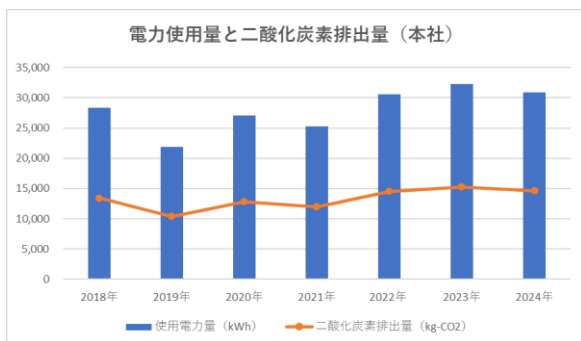
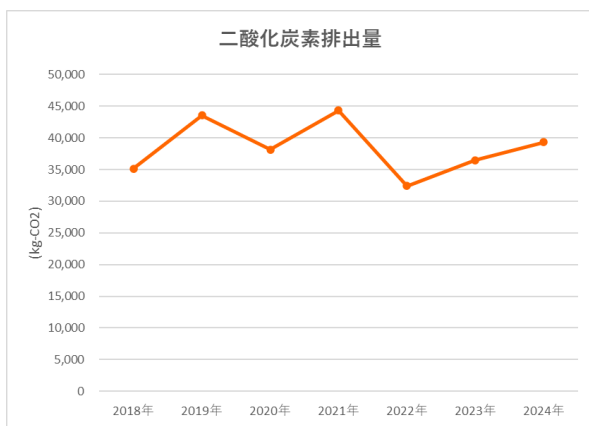
環境目標	項 目	基準年	昨年度	実績	評価	環 境 目 標			
		年度実績	2023 年度	2024 年度		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
1. 二酸化炭素排出量削減	CO2総量 Kg-CO2	39,756	36,503	39,331	×	38,419	38,016	37,613	37,209
①電力使用量の削減(本社)	電力使用量(kWh)	2018 年度 実績	32,276	30,900	×	対基準年 6%削減	対基準年 7%削減	対基準年 8%削減	対基準年 9%削減
		28,334				26,634	26,351	26,067	25,784
	CO2 Kg-CO2	13,430	15,299	14,647	×	12,624	12,490	12,356	12,221
②電力使用量の削減(現場)	電力使用量(KWh)	2018 年度 実績	1,954	15,602	×	対基準年 6%削減	対基準年 7%削減	対基準年 8%削減	対基準年 9%削減
		7,442				6,995	6,921	6,846	6,772
	CO2 Kg-CO2	3,527	926	7,395	×	3,315	3,280	3,245	3,210
③ガソリン使用量の削減 (本社・現場)	ガソリン 使用量(L)	2020 年度 実績	8,483	7,336	○	対基準年 4%削減	対基準年 5%削減	対基準年 6%削減	対基準年 7%削減
		9,827				9,434	9,336	9,237	9,139
	CO2 Kg-CO2	22,799	19,680	17,018	○	21,887	21,659	21,431	21,203
④軽油の削減 (本社・現場)	軽油 使用量(L)	2023 年度 実績	232	105	-				
		232							
	CO2 Kg-CO2	599	599	271	-				
2. 廃棄物排出量の削減(本社)	廃棄物排出量 Kg	2019 年度 実績	456	369	○	対基準年 6%削減	対基準年 7%削減	対基準年 8%削減	対基準年 9%削減
		618				581	575	569	562
3. 水使用量の削減(本社・現場)	水使用量 m ³	2020 年度 実績	169	170	○	対基準年 4%削減	対基準年 5%削減	対基準年 6%削減	対基準年 7%削減
		177				170	168	166	165
4. 化学物質の適正管理(現場)	化学物質 適正管理	—	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5. 建設廃棄物リサイクル率向上(現場)	リサイクル 率 %	100%	100%	100%	○	99%を 維持	99%を 維持	99%を 維持	99%を 維持
6. 地域環境保全活動の推進	清掃活動 の実施	1 回/月	1 回/月	1 回/月	○	1 回/月	1 回/月	1 回/月	1 回/月

7. 環境教育の実施	取組・経過 確認共有 意識向上	—	—	1 回/月	○	1 回/月	1 回/月	1 回/月	1 回/月
------------	-----------------------	---	---	-------	---	-------	-------	-------	-------

※購入電力のCO2排出係数は0.474Kg-CO2を使用

※LPG、灯油は極少量のため目標に入れない。但し使用量があった場合は実績に参入する。

5. 環境経営目標のこれまでの実績(2018年～2024年)



6. 環境経営計画、環境経営計画に基づき実施した取組内容(1)

No.	環境経営計画	環境経営計画に基づき実施した取組内容	関連 SDGs
1	二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量削減	
	① 電力使用量の削減(本社) ・使用していない照明やパソコンを消すことによる電力使用の抑制 ・冷暖房の温度の設定管理(夏27℃冬21℃)とエアコンの清掃(1回/3か月)	①電力使用量の削減(本社) ② 電力使用量の削減(現場) ・消灯係やパソコンチェック係を決め、使用していない照明やパソコンを消すことを徹底した。 ・空調機に冷暖房の温度の設定管理(夏27℃冬21℃)を添付し設定温度を徹底した。 エアコンの簡易点検は、3ヶ月に1回実施した。	  
	③ 電力使用量の削減(現場) ・使用していない照明やパソコンを消すことによる電力使用の抑制 ・冷暖房の温度の設定管理(夏27℃冬21℃)とエアコンの簡易点検(1回/3か月)		
	④ ガソリン使用量の削減(本社、現場) ・エコドライブの徹底 ・適正な車両の整備(1ヶ月に1度)	④ ガソリン使用量の削減(本社、現場) ・エコドライブ10の推進のパンフレットを全ての自動車に備え付け、エコドライブの徹底を図った。 ・チェックリストを作成し、月末に適正な車両の整備(1ヶ月に1度)を行った。 ・安全運転講習を行った。	    
2	廃棄物排出量の削減(本社) ・コピー用紙の裏紙利用 ・廃棄物の分別の徹底 ・排出量の測定	・コピー用紙の保管場所を定め、裏紙利用を徹底した。 ・廃棄物の分別を明記し、ゴミ収集日には排出量の測定を行った。 ・工事現場で排出する廃棄物は、分別を徹底し、99%以上は再資源化に排出した。	     
3	節水の推進(本社、現場) ・節水意識の喚起 ・節水表示の設置	・各水栓に節水表示を設置した。	 
4	化学物質使用量の削減(現場) ・化学物質使用量の把握 ・化学物質の適正管理(酸化性物質、一般的な混触禁止物質との混触を避ける)	・現在使用している製品にPRTR制度対象化物質は含まれていなかった。 ・購入量の把握をした。	
5	建設廃棄物リサイクル率向上(現場) ・産業廃棄物分別の徹底 ・マニフェストの確実な発行	・産業廃棄物の分別の徹底を図った。 ・マニフェストを確実に発行した。	  
6	地域環境保全活動の推進 ・HAGAKENクリーンアップ作戦の実施 毎月1回、会社周辺及び原当麻駅周辺のゴミ拾い・草むしりを行う	・毎月1回の清掃活動を行った。	
7	環境教育の実施 ・毎月の全体会議で現状の結果を確認 社内で状況を共有する	・毎月1回の情報共有を行った。 ・さがみはら SDGsビジネス認証を受けた。	

6. 環境経営計画、環境経営計画に基づき実施した取り組み内容(2)

・HAGAKENクリーンアップ作戦の様子

周辺地域のゴミ拾い「HAGAKEN クリーンアップ作戦」を毎月 1 回行っております。
活動は 9 年目を迎えました。
参加人数も増え、まちをキレイに！の意識は高まっています。



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

環境活動計画	2023 年 11 月～2024 年 10 月		2024 年 11 月～2025 年 10 月
	取組結果	評価	次年度の環境経営計画
1. 二酸化炭素排出量削減	わずかに目標未達。 現場電力使用量が大きいため。	×	・引き続き、協力会社含め全社員の周知徹底に努める。
① 電力使用量削減(本社) ・エアコンの温度管理 ・消灯の徹底	3 年連続で目標未達となった。 声を掛け合っているが、なかなか成果と結びつかない。	×	・使用していない照明やパソコンを消すことによる電力使用の抑制。 ・冷暖房の温度の設定管理(夏27℃ 冬21℃)とエアコンの簡易点検(3ヶ月に1回) ・大きくズレが生じているので目標を見直す。
② 電力使用量削減(現場) ・エアコンの温度管理 ・消灯の徹底	大規模な工事が多く、目標未達。	×	・電力使用の抑制・声掛け ・冷暖房の温度の設定管理 ・協力会社にも周知徹底 ・目標設定を先延ばしにしてしまったので、来期は適正目標を定めたい。
③ 燃料(ガソリン)使用量削減(本社、現場) ④ 軽油使用量削減 ・エコドライブの徹底 ・車輛の点検整備	目標達成。 使用量を大きく減らすことができた。	○	・エコドライブの徹底 ・適正な車両の整備(1ヶ月に1度) ・可能な現場へは乗り合わせて移動する
2. 廃棄物排出量削減(本社) ・コピー用紙の裏紙利用 ・排出量の測定	毎年目標達成できていたが、今年が一番削減できた。	○	・排出量測定の徹底を図る ・裏紙再利用の徹底 ・廃棄物の分別の徹底
3. 水使用量削減(本社、現場) ・節水意識の喚起 ・節水表示設置	ぎりぎり目標達成となった。	○	・節水意識の喚起
4. 化学物質使用量削減(現場) ・使用量の把握・適正管理	適正管理を実施。	○	・現在使用しているものに、PRTR 制度対象化学物質は含まれていないが、今後も適正に管理していく
5. 建設廃棄物リサイクル率の向上(現場) ・産業廃棄物分別の徹底 ・マニフェストの確実な発行	100%維持で目標達成。	○	・引き続きリサイクル率向上に取り組む ・副産物分別の徹底 ・マニフェストの確実な発行
6. 地域環境保全活動の推進 ・クリーンアップ作戦の実施	毎月清掃活動を行った。	○	・引き続き取組を継続する
7. 環境教育の実施 ・全体会議での情報共有	毎月1回の情報共有。	○	・毎月の全体会議でエコアクションの取組・経過を確認し、全員で情報を共有する ・さがみはら SDGsビジネス認証を取得

○:目標達成、×:目標未達

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

承認	確認者
芳賀	眞那子

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	確認	確認日
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理、 産業廃棄物(汚泥、金属クズ、廃プラ、廃油等) の適正処理 マニフェストの交付 産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出	○	2024年 12月 1日
フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理	○	12月 1日
相模原市廃棄物の減量化・資源化及び適正処理等の推進に関する条例	減量化、再資源化 一般廃棄物の処理	○	12月 1日
建設リサイクル法	特定建設資材のリサイクル	○	12月 1日
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	—	12月 1日
家電リサイクル法	特定家庭用機器の廃棄時適正処理	—	12月 1日
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子の廃棄時適正処理	—	12月 1日
騒音規制法	騒音規制基準の遵守	○	12月 1日
振動規制法	振動規制基準の遵守	○	12月 1日
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	規制基準の遵守(騒音・振動) アイドリングストップ	○	12月 1日
自動車NOx・PM法	特定地域における使用車両の窒素酸化物、排出基準に適合	○	12月 1日
建築物省エネ法	建築物の適合義務、届出義務	—	12月 1日
大気汚染防止法	石綿含有建築材料に関する法規制	○	12月 1日
PRTR 法	有害な化学物質の環境への排出量や廃棄物への移動量を把握	—	12月 1日

— 取組期間中は該当しない。

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、過去3年間、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

7年目を迎えたエコアクション 21 認証取得に向けた取り組み。

なかなかすべての目標達成は難しいが、一人一人においては意識せずとも節電や節水が身についてきたように思う。

ここからは社内にとどまらず、協力会社とのさらなる意識共有も目指したい。

[各項目別に見ると]

① 二酸化炭素の排出量削減未達成。

本社の電気使用量、現場電力使用量が目標未達となった。

去年と同じく暑さが長く続き、エアコンの使用時間、設定温度を下げての使用が影響していると思う。

目標値と大きく差があることから、来年度は目標修正を行う必要がある。

現場電力使用量は、どのような方法で新たな目標を設定するのか検討する。

ガソリン使用量は大きく減らすことができ、目標達成となった。

引き続き次年度もエコドライブに努めたい。

今年度より軽油使用量を追記した。ごく少量ではあるため来年度の結果を見てから目標に追加するか検討したい。

- ② 一般廃棄物総排出量は、毎年順調に減少していたが、ここにきて大きく減らすことができた。

大きい現場が多数あり、事務所に人が少なかったこともあるが、来年度もこの調子で削減に努めたい。

- ③ 水使用量は目標達成となったが、ギリギリだったため、次年度は注視していく必要がある。

- ④ 建設廃棄物リサイクル率は、今年度も目標達成となった。

今後も99%を維持していくよう引き続き取り組んで行きたい。

- ⑤ 毎月の地域清掃、全体会議での情報共有は達成できた。

今年度より「さがみはら SDGsビジネス認証」を取得した。

社員対象の商品勉強会が開催できなかったのもので、次年度は勉強の場を設けたい。